

戸田市 施策評価シート

作成日	平成29年06月11日	作成者名	栃本 由兼	評価者名	森谷 精太郎
-----	-------------	------	-------	------	--------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	消防本部・消防本部総務課
分野	01 消防・救急	関係課	消防本部・警防課
施策	28 消防体制の充実		消防本部・予防課
			消防署・消防第1課
		消防署・消防第2課	
施策の目的	大規模災害や特殊災害発生等に備えて、消防施設及び資材等を充実するとともに、消防職員、消防団員のスキルアップを図ることにより市民が安心して生活できるよう、消防体制の充実を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	消防職員研修事業
取り組み②	消防団厚生事業
取り組み③	消防車両の整備事業
取り組み④	大規模災害用対応資器材整備事業
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
消防団員に対する教育	消防団員教育への年間受講率 (受講者数÷消防団員実員数)	%	85	80	81.3	86.1			
消防団員の加入促進	団員定数に対する実員数 (実員数÷定数)	%	90	70	89.5	87.9			
潜水隊員の養成	潜水隊1隊6名で3隊編成 (潜水隊員数)	人	18	15	15	18			
その他施策の取組事項に係る成果	職員教育としては、消防大学校1名、県消防学校の10課程に延べ15名、救急に係る専門教育に延べ48名、消防技能講習12課程に延べ26名、団員教育として県消防学校の3課程に5名が研修を修了した。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<ul style="list-style-type: none">老朽化した車両の更新整備と大規模災害等に対応できる資器材の充実が必要である。職員の大量退職に伴う一時的な消火活動能力の低下が懸念され、知識・技術の伝承はもとより現場対応能力の向上が求められている。消防水利は、消火栓だけに頼るのではなく、継続的な消火活動が可能な体制を整備し、大地震や大規模火災に備える。就業構造の変化等により男女ともに消防団員の確保が難しい状況である。	対応策	<ul style="list-style-type: none">老朽化した消防車両や消防資器材の更新整備を進めるとともに、最新の資器材を導入し消防体制の充実強化を図る。教育機関への入校、病院実習、免許等の資格取得を実施し、個人及び組織的に技能の向上を図る。耐震性防火貯水槽の設置や給水支援活動の整備を導入し、継続的な消火活動ができるよう進める。消防団の充実強化を図るため、消防団への入団促進及び優遇制度の導入等を進め、入団しやすい環境整備を行う。
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	消防車両の更新整備を始め大規模災害時に必要となるの消防資器材の充実整備を図った。また、また、潜水隊員の育成を積極的に行い、3名の新たな潜水隊員が潜水業務に加わった。消防団においては、防災講演会や防災体験講座に参加し、団員個々の防災力を高めることができた。しかしながら消防団員の定年による退団等もあり団員の実員数が減ってしまった。消防車両の更新整備は計画に基づき進めていく。大規模災害に対応する消防資器材の整備についても引き続き導入していく。また、職員等のスキルアップを図るため消防職員や消防団員への教育・訓練を更に進めるとともに、消防団員の加入促進にも力を入れていく。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)		
→		

(評価者コメント)

消防車両整備や消防資器材の整備については効果的に事業を進めることができた。また、各種災害に対応した訓練についても、消防職、団員ともに実りある訓練を行うことができ、引き続き災害対応の強化を図っていく。

戸田市 施策評価シート

作成日	平成29年06月11日	作成者名	栃本 由兼	評価者名	森谷 精太郎
-----	-------------	------	-------	------	--------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業コード		事業 区分	H29決算額	事業 の 方向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方向 性	実 施 計 画 候 補			施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト
		事業内容			H30予算額			施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性						
					H31計画額												
		消防施設整備事業		0											0		
	90	01	09	01	03	02	90	法定	5	-	-	-	-	5		0	
		平成21年度から新曽第一 土地区画整理地内の公園予定		0												0	
				計 (千円)	事業費	471,130	244,674	252,717	0								
				うち一般財源	471,130	243,367	251,745	0									

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
7 平成31年度で終了 8 平成30年度で終了 9 平成29年度で終了